

母子手帳アプリ「ちあほっと」が始まりました！

「うすき石仏ネット」では昨年度、母子手帳との連携に取り組んできました。この4月からいよいよ石仏ネットで母子手帳の情報が確認できるようになります。あわせて連携を開始した母子手帳アプリ「ちあほっと」もご紹介します。

Q1. 母子手帳と石仏ねっとの連携とはどういうことですか？

母子手帳にのっている子どもの予防接種情報や市の乳幼児健診の結果は臼杵市が保有しています。今回そのデータとの連携を開始することによって、石仏ねっとでも予防接種情報や健診結果を見ることが出来るようになりました。

Q2. 母子手帳と石仏ねっとが連携することでどのようなメリットがあるのでしょうか？

健診の詳細な情報は市に問い合わせる必要がありましたが、これが石仏カードで確認できるようになります。また予防接種情報も、母子手帳をみなくても確認できるようになります。

Q3. 母子手帳アプリ「ちあほっと」とは何ですか？

「母子モ」という母子手帳アプリの臼杵市版になります。子育てを支援するアプリです。

Q4. どのような使い方をするのですか？

保護者の方が、予防接種や成長の記録などスマートフォンで記録することができます。予防接種管理(事前お知らせ、うち忘れアラート)ができたり、市からの子育て情報が届くなど、サポート機能が充実しています。またアプリの情報は家族間で共有することもできます。

Q5. 「ちあほっと」と石仏ねっとが連携することでどのようなメリットがあるのでしょうか？

連携を開始した臼杵市の子どもの予防接種情報や健診での身長・体重が、「ちあほっと」に反映されるようになりました(ただし情報が反映されるのは少し時間がかかります(予防接種は接種して約2ヶ月後))。

Q6. 「ちあほっと」と石仏ねっとの連携には手続きが必要ですか？

すでに石仏カードを持っている方は新たに同意が必要になります。石仏ねっとに参加施設にある同意書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。新たに石仏カードを作る場合は、加入時に一緒に手続きができます。

Q7. 外来受診の時は母子手帳をもたずに、石仏カードだけでよいですか？

石仏ねっとや「ちあほっと」で確認できるのは一部の情報だけです。引き続き病院受診の際には母子手帳を忘れずご持参ください。

※便利なアプリですので、ぜひ「ちあほっと」ご利用ください。



日本脳炎ワクチンは生後6か月から接種しましょう！

日本脳炎は、蚊に刺されることによって起きる重篤な病気です。予防接種の標準的スケジュールは3歳からになっていますが、近年西日本では小児の日本脳炎の発生が相次いでいます。2015年に千葉で10か月の児が発症したことから、日本小児科学会では生後6か月からの日本脳炎ワクチンの接種開始を推奨しています。臼杵市では、今年度から6か月からの早期接種を勧める事にしました。

当院でも今年度から6か月からの接種を開始しますので、ぜひ早めの接種をお勧めします。